

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	インターンシップアシスト事業
事業主体 (連絡先)	回帰促進協議会 0265-22-4511 (内線3514)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,119,997 円 (うち支援金: 1,496,000 円)

事業内容

・オンラインによるインターンシップ導入支援
「オンラインカフェ」「働くってこんなこと」「社会人名鑑」等、地元で働く社会人と学生のオンライン上の交流を通じて、職業観の醸成や地方で暮らすことに関する学生の関心を向上させる

令和3年4月～令和4年2月

イベント実施回数75回 参加者延べ236人

・南信州インターンシップ情報の収集と有益な情報発信
飯田下伊那の企業のインターンシップ情報を収集し、ウェブサイトで一体的に発信することにより学生の参加促進を図る
39社のインターンシップ情報を掲載
SNSを通じて、地元企業の情報や地域のニュースを発信し、地方暮らしの魅力若者に伝える。

事業効果

①実施2年目を終え、オンラインを活用した各事業への参加企業が増加し、地元の多くの企業の情報発信ができた。

オンラインカフェ実施企業 R2:2社 → R3:5社
働くってこんなこと、社会人名鑑の実施企業

R2:11社 → R3:25社

②SNS等を活用した情報発信の活発化により多くの人に情報を届けることができた。

SNSのフォロワー数 R2:409 → R3:1,258

今後の取り組み

学生の就職活動におけるインターンシップの位置づけは年々重要性を増している。また、新型コロナウイルスの影響により、学生のオンラインによる就職活動の一般化が進んでいる。

人口減少社会における企業の採用活動は年々厳しくなっており、これまでの取組をさらに広めることにより、地域全体の企業の採用活動を活発化させていきたい。



【オンラインカフェの様子】

【目標・ねらい】

- ① オンラインインターンシップにより学生と企業の継続的な関係構築を支援する
- ② オンライン上の交流を通じて、インターンシップ受入れプログラムの作成を学生目線で支援する。
- ③ 地元企業のインターンシップメニューや、学生にとって有益な情報を発信し、地域の魅力を伝える。

※自己評価【B】

【理由】

- ・昨年2社でモデル的に実施したオンラインカフェの事業を、横展開により拡大して実施できた。
- ・事業全体で、昨年の2倍以上に当たる約30社が関わり事業が実施できた。